

午後Ⅱ試験

プロジェクトマネージャ試験では、“あなたの経験と考えに基づいて”論述することを求めているが、問題文の記述内容をまねしたり、一般論的な内容に終始したりする論述が見受けられた。また、誤字が多く分かりにくかったり、字数が少なくて経験や考えを十分に表現できていなかったりする論述も目立った。

“論述の対象とするプロジェクトの概要”については、各項目に要求されている記入方法に適合していなかったり、論述内容と整合していなかったりするものが散見された。

要求されている記入方法及び設問で問われている内容を正しく理解して、正確で分かりやすい論述を心掛けてほしい。

問1（システム開発プロジェクトにおけるコスト超過の防止について）では、コストの管理を通じてコスト超過が予測される前に、PMとしての知識や経験に基づいて察知した、コスト超過につながると懸念した兆候、懸念した根拠、兆候の原因と立案したコスト超過を防止する対策について具体的に論述できているものが多かった。一方、兆候とは問題の起こる前触れや気配などのことであるが、PMとして対処が必要な既に発生している問題を兆候としている論述も見られた。

問2（システム開発プロジェクトにおける、助言や他のプロジェクトの知見などを活用した問題の迅速な解決について）では、プロジェクト内の取組だけでは解決できそうにない問題が発生した場合、有識者や参考とするプロジェクトの特定、助言や知見などの分析、問題の迅速な解決への取組について、具体的に論述できているものが多かった。一方、計画時にプロジェクト目標の達成を危うくしそうな問題を認識していたにもかかわらず、対処が不十分なままプロジェクトを開始してしまったというような、PMとしての判断が不適切と推察される論述も見られた。